



ましみの里

～幸せをつかむため、自ら考え行動する子供～

天童市立高掬小学校
学校だより No.2
令和7年4月23日
校長 鈴木博志

朝からうれしい出来事があったため、急遽、学校だよりを発行します。

【通学班長のみなさんへ】

きのうは、せっかくの中間休みに音楽室に集まってくれてありがとう。

通学班での登校の仕方について、私が心配していることを通学班長のみなさんに伝えました。

そして今日の朝、皆さんの登校の様子がどのように変わるのか楽しみにしながら、芳賀タウンのローソンのところで、登校の様子を見守っていました。すると・・・



- 低学年の人たちがちゃんと後ろを付いてきているか、何度も振り返りながら先頭を歩く班長さんがいました。
- 歩道の中で、車道から遠い方を1列で歩くように気をつけている班長さんが、たくさんいました。
- 横断歩道を急ぎ足で渡るように、班員に声をかけている班長さんがいました。
- あいさつで、班のお手本になろうと声を出している班長さんがいました。

きのう、班長さんたちに話したばかりなのに、1日でこれだけ変えられるというのは、班長のみなさんに強い責任感とリーダーシップがあるということだと思います。さすがですね。

ただし、1日だけうまくできたとしても、それは本物の力とは言えません。1週間続けることができ初めて「本物」と言えるでしょう。もし、1か月続けることができたら、それは「習慣（しゅうかん）」になります。そして、仮に1年続けることができたら、それは高掬小の新しい「伝統（でんとう）」になると思います。

来週から、一部の交差点に先生方が立って、皆さんの登校の様子を見守ります。通学班長がリーダーシップをとる姿を、他の先生方にも見せてください。

通学班長のみなさん、高掬小440名の命を守るために、これからも通学班のことをよろしくお願いします。